

- 1 ク
- 2 ソ
- 3 カ
- 4 エ
- 5 ク
- 6 ソ
- 7 ソ
- 8 ① イ ② イ ③ イ ④ ア ⑤ イ
- 9 オ

《総評》

昨年に比して難化している。予想合格水準点は 60 点と史料する。自己採点時には、1 2 3 を各 12 点×3 とし、4 5 6 7 を各 11 点×4、8 を 2 点×5、9 を 10 点として計算するとよからう。

確実に正解したいのが 2 3 5 である。2 は、立体図形では典型的な問題であり、類題も数多く解いているはずである。展開図も与えられていることであるし、あわてなければ正解に達する。3 は、東海編入のいままでの確率の問題からすると難しい部類に入るが、たとえば「最重要ポイント速習講義」の確率の回では、天気を題材にしたほぼ同様の問題を扱っているし、模試でも同様の問題を扱っているので、これらを復習していれば標準的な問題といえる。樹形図を用いて考えると整理が比較的簡単にできる。5 は、本文中に出ていない語を補充することになるが、難易度としては標準的である。「自己分析」と言い換え可能な単語を選ぶ。

次いで、4 6 7 9 については、その半数を解き、さらに残りの 2 題のうち 1 題は解答までたどりつけることを望む。4 は、特に選択肢③の真偽を中心に、条件整理問題としては煩雑であるが、丁寧に解いていけば正解できる。6 は、まず①②③（禁煙計画を立てる段階）と④⑤（禁煙を決意させるまでの段階）とを分けられると、選択肢がかなり絞れる。そこから先が問題だが、聞き取りと説得の順番で⑤→④とするのが妥当だろう。あとは、③→①→②の順がそれでも妥当であることを確認して解答する。7 は、確率の設問としては 3 同様、昨年以前の出題から考えると難化している。解答の方向性としては、余事象の考え方をを用い、まず「3 人とも同色」を考え、次に「2 人だけが同色」の場合はないことを確認し、「1 人が同色」を考え、これらの和を 1 から引くことで「0 人が同色」の確率を出すのが 1 つの方法だろう。参考にしてほしい。9 は、選択肢①②③を切り、⑤を選び、④⑥について慎重に検討する。④⑥は、結局相手方の高齢者から同じように聞き取りにくい発言がなされる可能性が高く、「最も適切」とは言えないだろう。

最後に 1 8 については、8 のうち 2 題（標準的には③④）を正解し、できれば上積みを狙う。1 は、文章題でなく、数学そのものの形をとっているところがいままでと違うところである。整数の絡む問題は苦手な受験生が多いから、その場合、この設問は最後に回して解答するほうが賢明だと言える。解答の方向性としては、文系出身などの事情で数学的な解法が望めないのなら、まず $x \cdot y$ がともに正の整数であることと 1 番目の等式から、 k も正の整数であることを導き、選択肢アイウオケスセソタを不適として、次に第 1 式を 2 倍、第 2 式を 3 倍して加減法により y を消去し、残った選択肢を参考にしながら、 $k=1$ から調べる、といった手順になろうか。8 は、生活保護についての正確な知識がないと（さ

らに言うとも知識があったとしても) 正解は難しい。①、食費・光熱費については基準額があり、これをもとに支給されるのであって、「全額支給」ではない。②、世帯単位である。③、「定められた範囲で」実費支給であり、条件なしで全額支給されるのではない。④、個人負担はなく、これが唯一の「正」となる。⑤、生活保護は、年金等の収入を考慮してなお最低生活費に対して不足額がある場合に支給されるのであって、年金を受け取れないのではない。

昨年とこれだけ難易度に差があると、試験場では各受験生ともかなり焦燥感に駆られたことと思う。しかし、今年のこういった傾向を理解して、ぜひ希望を持って前向きに2次対策に向かってほしい。

《さいごに》

受験生の皆さん、今日は本当におつかれさまでした。よく休んで英気を養っておいてください。東海編入は2次試験がほんとうの勝負です。合格ラインに達していると考えられる受験生が数多くいます。ぜひ、発表を待たず、また結果に悲観的にならず、明日から2次対策を行ってください。

今年度 PM 横浜 医学教室で受講した皆さん、1次受験おつかれさまでした。講座や模試が、英語・適性試験の解答に役立ったことを祈ります。2次もがんばって、ぜひ医師への切符を手に入れましょう。